

第三十一回フオト旬会優秀作品(25年7月17日)

<自由題>



慎重にナマもの運ぶ

宅急便 中村 晃也

寸評:確かに保育園児はナマものである。宅急便の配達に使われる台車に乗せられた園児達が、大事な荷物か、檻の中の動物に見えてくるから不思議である。

もち肌はもうたまらんと

身を焦がす 矢澤 正二

寸評:なによりも写真がよい。背景を黒に落として主役の餅の焼き目も程よく良い匂いが漂ってくるようだ。「もち肌」、「身を焦がす」と思わせぶりの句も色っぽい。



神様も毎晩辞書と

首っ引き 下山 健夫

寸評:外人の影響で最近では静かな神社ブームである。願い事を頼まれるのはよいが、少ない賽銭では辞書代もでないのでは? 神様も辛い昨今である。



今でしょう！のるか反るかの
社長席 矢澤 正二
寸評：不思議な絵である。激流に
翻弄されているゴムボートには誰
も乗っていない。こんな絵にこん
な句をつける作者の意図は常人の
感覚を超えている。なにが「今で
しょう」か分からないでしょう！



句 付 け

7月の御題写真



芋虫も蝶になるまでひと眠り	三 春
飛び乗って弛み具合で知る重さ	平尾 富男
二人目は靴も脱がずになだれ込む	中村 晃也
戦死して国旗巻かれた夢で醒め	池田 隆
白昼夢ひと山当てて転げ落ち	三 春

寸 評：

今月の御題写真は中村さん出題の、リゾートホテルの林間に吊られたハンモックの写真です。一足揃えてある靴をどう意味づけるか知恵を絞りました。

三春さん：ハンモック全体を芋虫ととらえたもの。ハンモックの模様も蝶を想像させ女性らしい綺麗な句です。

平尾さん：ハンモックは人が乗ると予想以上に尻が落ちるものです。「尻（ケツ）の重さを自覚する」などという品のない句もありましたが。この句の「弛み具合で知る重さ」とは言いえて妙。巧みな言い回しです。

中村さん：「靴も脱がずになだれ込む」という直接的な行動は、知性と教養が溢れる作者には期待できないでしょうな。

池田さん：戦死して国旗に巻かれて護送されるというシーンはたとえ夢であっても我々若者には理解できない状況ですね。

三春さん：最高点をとった一句目の作者とは思えない下世話な句ですね。一句目が出来過ぎで、この句が本来のペースであるとは思いたくない。

先月から入会された下山健夫さんは、早くも自由題で入選されました。もともとセンスに溢れた方ですが、ビギナーズラックということもあるので、今後の注目株です。

なを、8月度は休会といたします。次回は9月9日です。